

尼同教 60年

尼同教の結成とその後の取組 ⑥

尼崎市人権・同和教育研究協議会 副会長 三澤 雅俊

前号に引き続いて、尼同教のあゆみを今回は「尼同教50年のあゆみ」で執筆していただいた小餅谷信行さんの「40周年から50周年まで」をもとに振り返ってみたいと思います。

前号で「尼同教」の名称変更について触れましたが、この名称変更には国の方針もあるとの記述がありました。国は、2000(平成12)年に「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」を制定します。この法律を受けて、2002(平成14)年3月に策定された「人権教育・啓発に関する基本計画」の中で、現在および将来にわたって人権擁護を推進していく上での重要課題として、①女性、②子ども、③高齢者、④障がい者、⑤同和教育、⑥アイヌの人々、⑦外国人、⑧HIV感染者・ハンセン病患者等、⑨刑を終えて出所した人、⑩犯罪被害者等、⑪インターネットによる人権侵害、⑫その他、以上の類型に該当しない人権問題、例えば同性愛者への差別など、と12の課題*を列挙しています。このような流れから名称変更の問題が出てきたと考えられます。

「尼同教」の事業である現地学習会について振り返ってみると、役員や個人会員対象に、先進地視察として始まった現地学習会でしたが、人口や予算規模等の違いから参考になる地域も限られ、いつの頃からか人権問題と係わりのある施設や地域での学習に代わっていききました。

40周年であった1998年度からの10年間の見学先を記すと、1998年度は御所市の水平社歴史館。1999年度は京都市崇仁地区隣保館。2000年度は奈良県同和問題関係資料センター。2001年度は姫路市平和資料館。2002年度は丹波マンガン記念館と立命館大学国際平和ミュージアム。2003年度は和泉市立人権文化センター。2004年度は但東町東井義雄記念館。2005年度からは年3回の実施となり、1回目は岡山方面(閑谷学校、本蓮寺、海遊文化会館)、2回目は南港方面(エルシティナンコウ、かんでんエルハート)、3回目は大阪方面(猪飼野コリアンタウン、鶴橋国際市場)。2006年度の1回目は岡山方面(長島愛生園)、2回目は丹波方面(岩屋山、石倉寺)、3回目は大阪方面(大阪刑務所)。2007年度の1回目は篠山市内(現、丹波篠山市・在日コリアンの足跡を訪ねて)、2回目は大阪城周辺(戦争の傷跡)。

見学先からも分かるように、この時期になると幅広い視点から人権問題にアプローチしていることが伺えます。もう一点、この10年間の新たな試みは、市内のこともっと知ろうということ、2000年度から7年かけて市内7地区を訪ね、地元の人々から地区の歴史等を学ぶ交流学習会を実施したことです。

(次号につづく)

*現在は、2011年に「北朝鮮当局による拉致問題等」が追加され、13の課題になっています。

人権・ひとこと

2021年7月23日、紆余曲折を経て東京2020オリンピックが無観客で開幕しました。連日のアスリートたちの活躍に感動し、スポーツのもつ力の素晴らしさを感じました。コロナ禍でも目標に向かって努力をしてきたことや、周りの人への感謝の気持ちが伝わってくるからこそだと思います。

一方で、コロナ感染は第5波を迎え、人権に関わる問題が表面化されました。人権意識を高めるには、自分の考えの違いに気づき、変わろうとすることが重要です。そして、そのためには安心して素直に自分の意見が出せるという経験が大切になります。それは、私たちが取り組んでいる人権教育小集団学習会の目標であり、こつこつと地道に取り組んできたことであり、これからも続けなければならないことです。

コロナ対策は？震災復興は？多様性と調和とは？貧困、難民問題、そもそもオリンピックとは…たくさんの課題がみえてきました。

一人の力は小さくても色々な立場の人が知恵を出しあい、みんなの力を合わせて解決していかなければなりません。

これからも私のできることを考え、地域の明るいおばちゃんになりたいと思います。

尼同教 社会教育部副部長・個人会員/人権啓発推進リーダー 菅原 寿美子

・編集後記・

今回、さまざまな世代にご協力いただき、アンケートという形で質問に答えていただきました。いろいろな意見の中で共通していることは、これまでの日常を取り戻したいという切実な思いでした。自分のことはもちろん、周りの方たちの笑顔を守るために互いを思いやりながら生活していくことが肝要だと改めて気付かされました。今回アンケートにご協力くださった方々には感謝申し上げます。

編集委員 山本 育子
守永 貴美恵
西川 達也
宮下 邦雄

尼崎から人権を 考える

尼同教だより TUNAGARU

つながる

第111号 2021.9

発行 尼崎市人権・同和教育研究協議会
〒661-0024 尼崎市三反田町1-1-1 社会教育課内
TEL/06-4950-0405 FAX/06-4950-5658
E-mail/ama-syakaikyoku@city.Amagasaki.hyogo.jp

人権マンガ 作品展

6月12日土曜日から30日水曜日まで中央北生涯学習プラザ1階ロビーで開催しました。



昨年度の「人権マンガ大募集！」にご応募いただいた全作品を展示し、作品展を開催しました。たくさんの方にご覧いただき、展示の様子はペイコム(ケーブルテレビ)の番組「週刊Bayニュース」でも紹介されました。今年度も「人権マンガ大募集'21」として作品を募集し、来年1月に作品展の開催を予定しています。

アンケートBOXにいただいたご意見・ご感想
・いじめるはよくないということがあらためてわかりました。
・いろいろな年齢の方の作品があり、内容もさまざまでももしろく考えさせられました。小学校の道徳の授業でやってもいいのでは？
・みんなよくできていると思う。社会人、大人になっても正しい心を持ち続けてほしい。(アンケート原文まま)

定期総会

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会員が一堂に会することを取り止め、書面議決を行いました。全ての議案について、尼崎市人権・同和教育研究協議会規約第14条に基づき、書面議決権を有する会員(理事及び代議員226名)の過半数の承認をもって可決されました。

2021(令和3)年度 役員・専門部長

- | | |
|--------------------------------|------------------------------|
| 会長 / 寺岡 陽子(個人会員) | 就学前教育部長(保育所) / 先田 香枝(武庫南保育所) |
| 副会長・社会教育部長 / 長澤 健祐(部落解放同盟塚口支部) | 就学前教育部長(幼稚園) / 谷澤 三千起(長洲幼稚園) |
| 副会長・PTA部長 / 橋本 達夫(尼崎市PTA連合会) | 小学校教育部長 / 足立 靖(武庫庄小学校) |
| 副会長 / 山本 育子(尼崎ユネスコ協会) | 中学校教育部長 / 嶋名 雅之(大庄北中学校) |
| 副会長 / 三澤 雅俊(個人会員) | 高等学校教育部長 / 竹中 浩二(尼崎西高等学校) |
| 副会長 / 能登 誠二(個人会員) | 会計監査 / 細間 亜季(尼崎市立小学校長会) |
| 会計 / 伴 公子(尼崎市社会福祉協議会中央支部) | 会計監査 / 嶋名 雅之(尼崎市立中学校長会) |

CONTENTS もくじ

- ・「じんけん(人権)」って何? 「じんけんまなぶ本」から
- ・「尼同教の結成とその後の取組⑥」 尼同教 副会長 三澤 雅俊さん
- ・「人権・ひとこと」 尼同教 社会教育部副部長・個人会員/人権啓発推進リーダー 菅原 寿美子さん

… 尼同教だよりのバックナンバーをご覧ください …
尼崎市HP トップページ > くらし・手続き > はたらく・人権・男女共同参画 > 人権 > 尼崎市人権・同和教育研究協議会



尼同教では、団体会員・個人会員ともに
随時募集しています。
お気軽に事務局までご連絡ください☆